

生活社会教育コース 社会科教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(社会)
または
中学校一種(社会) + 小学校二種
学生が近年取得したその他の免許
高等学校一種(地理歴史・公民) など

コース紹介詳細は
Webページへ



「社会は暗記科目だから」なんて言わせない！

地理・歴史・哲学倫理学・法学・経済学・社会科教育学などを専門とする研究者を擁し、社会を深く知るための教養と、高い実践力をもつ教員の養成を目指しています。

1年生の秋に社会科教育系への所属が決まり、2年生の秋に卒業論文の指導教員が決定します。3年生からは教員の指導のもとで各分野の専門的な研究を行い、4年生で卒業論文を執筆します。既存の知識を「獲得」するだけでなく、その「獲得方法」や「創出方法」を、さまざまな学問を通じて身につけられるのが社会科教育系の特徴です。小学校と中学社会科のほか、高校地歴・公民の免許も取得できます。卒業後は半数以上が主に小中学校の教員として活躍しています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

1年次では学部入門ゼミのほか、社会科内容論などで社会科の各分野の導入を行います。2年次には、概説・概論などの必修科目を履修し、社会科を構成する全分野の基礎力を身に付けます。3年次では、卒論の指導教員のもとで、演習・実習などのゼミを選択して各自の専門分野を深めるとともに、教育実習での実践を試みます。4年次では、教員採用試験などの就活を進めながら、4年間で学んだことを卒業論文にまとめます。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
学部入門ゼミ 社会科内容論 初等社会科教育学	中等社会科教育法 日本史概説 地理学概説 法律学概説 哲学概論 社会科教育学概論	日本史演習 西洋史演習 地理学野外実習 経済学講読 哲学倫理思想史 社会科授業構成論	歴史学特別演習 地理学演習 経済学演習 哲学倫理学演習 社会科教育学研究法 卒業論文

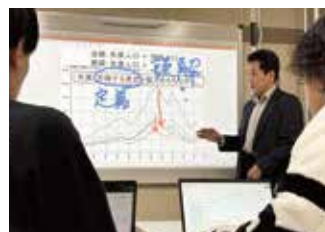
社会科教育学概論

「社会科」とは、どのような教科であり、どのような教科ではないのでしょうか。いかなる教育こそが「社会科」の教育と呼ぶにふさわしいのでしょうか。そのような教育をどのようにして可能にすることができるのでしょうか。これらの問いを受講者が教育実践に関する個々の具体的なテーマに即して追究します。



経済学講読 I

社会を理解し、人に説明するためには、様々な資料を扱う必要があります。そこで本授業では、数値を解釈し、説明に用いることができるよう、計算や加工の方法を教えます。なお、ただ表計算ソフトを使って処理するだけでなく、定義や方法を確認し、説明する内容を慎重に準備することも説いています。



MESSAGE

学生メッセージ 4年生 K. S. さん (静岡県立焼津中央高校出身)

部活動に、研究に、「青春」を駆け抜けよう！

史学、地理学、経済学、哲学、社会学、法学といった社会科に関わる様々な分野を学べるとともに、教師として実践的な指導力を身につけることができます。また、陸上競技部の一員として、仲間達と共に切磋琢磨してきました。OBOG、地域の方々と一緒に、山梨県内の陸上競技に携わらせて頂けた経験は、とても貴重なものでした！



教員メッセージ 相澤康隆 先生 (専門分野：哲学・倫理学)

大切にしなければならないのは、ただ生きることでなく、よく生きること。

私の専門はギリシア哲学で、近年はソクラテスを中心に研究しています。ソクラテスは「大切にしなければならないのは、ただ生きることではなく、よく生きることだ」と言いました。哲学を、そして社会科のその他の科目を学ぶことを通じて、よく生きることについて学生たちに考えてもらいたいと思っています。



研究紹介①

大隅清陽

古代甲斐国の成り立ちから山梨県の特徴を考える

7～10世紀の律令制時代の政治制度が専門ですが、山梨大学に赴任してからは、現在の山梨県に相当する古代の甲斐国(かいのくに)の研究にも取り組んでいます。

私の古代地域史研究の特色は、甲斐国の特色を、列島規模の遠距離交通を含む交通体系のなかで考察している点にあります。

太平洋沿いの街道である東海道と、本州内陸部の山国を東へと進む東山道、この何れにも接していない甲斐国は、かつては、外部との交流を閉ざされた奥深い山国と考えられていましたが、実際

は、東海道と東山道を結ぶ交通の結節点として、多くの人々が行き交う要衝の地でした。

また、現在の郡内地方である都留郡は、もとは相模国の一部だったのですが、郡内を通っていた御坂路が、7世紀の末に、国家の管理する東海道の支路(甲斐路)として整備されたため、甲斐国に編入されることになりました。

このように、交通という観点から古代の甲斐を考えることは、現在の山梨県の地域的な特色を考えるうえでも有効だと考えています。

～研究テーマ～

日本古代史
(特に律令制の時代)



大隅 清陽 Ohsumi Kiyoharu
福岡県北九州市生まれですが、中2まで北海道札幌市、中3から大学まで東京で過ごしました。滋賀大学経済学部(彦根市)をへて、1997年に山梨大学に赴任。社会科の日本史分野を担当しています。



図1 【山梨県史 通史編1 原始・古代・山梨県、2004、p.487より引用】



図2 【平川南、あたらしい古代史へ3 交通・情報となりわい、吉川弘文館、2020、p.66より引用】



図3 【読売新聞 地域 山梨3 2014年6月27日(金)より引用】

大化改新(645.6)以前の東国と国造

POINT1.....
大化改新以前の地方は、全国に120あまりが置かれた地方豪族の国造(こくそう)によって支配されていました。現在の郡内地方(都留郡)は、相模川(桂川)流域を支配していた相模国造(さがむのこくそう)の領域で、甲斐ではなく相模(現在の神奈川県)の一部でした。

東海道・東山道を結ぶ甲斐

POINT2.....
古代の基幹交通路である東海道と東山道は、いずれも甲斐を通っていませんでしたが、逆に甲斐は、東海道と東山道を結ぶ重要な機能をもっていました。甲府市酒折にある酒折宮は、その交通路の中間地点にあたります。

東海道甲斐路の設置による都留郡の甲斐編入

POINT3.....
7世紀末の天武天皇の時代、律令国家は全国に七道という官道を設置し、ほぼ等間隔に駅という交通施設を置きました。甲斐は東海道甲斐路によって東海道に接続されましたが、そこに置かれた駅は甲斐国の管轄でした。このため、それまで相模の一部だった都留郡が甲斐に編入され、現在に到る甲斐国(山梨県)の形が定まりました。

コースの紹介

社会科教育系ではどんなことを学ぶ？

小・中・高の社会科の「授業」の様子をイメージしてみてください。頭の中に、授業で学ぶ「学習者」、学習者に教える「教師」、そして教師と学習者が使っている教科書や資料集、地図や統計データ、歴史上の人物の肖像画や言葉...などの「教材」が思い浮かんだでしょうか。では、これらの教師、学習者、教材の3つが、どのように結びついていると「良い」「社会科の」授業と言えるでしょうか。言い換えると、社会科の授業は、「何のために(目標・目的)」、「何を(内

容)」、「どうやって(方法)」教えるものであると良いのでしょうか。

社会科教育系の学生は、これらを問いながら、大きくは①歴史や地理、公民系の学問、②学習者である児童・生徒、③社会科という教科の目標・内容・方法に関わる科目を学びます(他にも、教育の歴史や制度についてや、①～③にまたがった内容も学びます)。そのうちの③に該当する「公民科教育法」では、社会科で育てる「市民」とはどのような資質・能力を備えた人なのか、今の学校では市民を育てる教育としてどのようなことが行われているのか、今後は市民をどのように育てていくとよいのかを考え、実際に授業を計画し学生同士で実践してみます。

